

学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 平成 25 年 3 月 22 日
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目 1 番 1 号 TEL06 - 4309 - 3268

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
学校園の活性化と確かな学力の育成
総合的視点に立つ教育の推進、人間尊重に徹した人権教育の実践、
信頼に応える学校園経営、学校園・家庭・地域の協働



愛ガード運動 推進委員会 全体研修会



平成 25 年 3 月 7 日（木）午後 7 時より、総合庁舎 18 階大会議室において、全小学校区の愛ガード運動推進委員会の委員長、学校長等に出席いただき、全体研修会を開催しました。



まずはじめに八田教育次長から日頃の愛ガード運動への取組みに対するお礼があり、その後、3 警察署（枚岡・河内・布施）の防犯係長より、市内の犯罪の発生状況について具体的な数字をあげ、報告いただきました。各警察署管内で愛ガード運動活動時の犯罪が減少していることに対し、高く評価しておられました。また、今後の活動の参考にとということで、子どもたちの下校の時間帯に、犯罪の発生が最も多くなっていることを示され、具体的な被害防止のポイントを示唆していただきました。

次に、「スクールガード・リーダー」の陣内様からは、子どもたちの登下校の様子、愛ガード運動を進めていく上での様々な助言、見守り活動の中でのエピソード等についてお話がありました。

そして、大阪府警本部府民安全対策課「子どもの安全見まもり隊サポーター」の平様からは、各地区の見まもり隊の集まりや研修会、子どもたちへの啓発活動において集められた現場の声をもとに、今後の愛ガード運動のあり方についてお話がありました。



特別ゲストとして、東大阪市立枚岡中学校の 3 年生 山原愛生さんより「気づかせてくれたこと」と題して、愛ガード運動に関わる生活体験意見作文の発表をしていただきました。ある協力員さんとの出会いをとおして“人との繋がり大切さ”等、気づかせてもらったことを今後の生き方に活かしていきたいという内容のものでした。出席者全員が感動し、明日からの愛ガード運動への励みとなりました。「ぜひ、校区の愛ガード推進委員会で紹介したいので、作文を活用させてください」という要望がたくさんありました。

最後に、上四条小学校区愛ガード推進委員会委員長の立脇様より活動報告がありました。報告の中には、「愛ガード運動が地域に定着してきている」と実感できる学校と地域の協力体制の報告もありました。

質疑応答では、「作文発表してくれた枚岡中の生徒のような子どもたちの育ちが、この事業活動の大きな目的です。これからも頑張りましょう！」といった発言もあり、全体を通して大変有意義な研修会となりました。

愛ガード運動9年目へ！

子どもたちの安全・安心を守るため
今後とも協力をお願いいたします！

東日本大震災復興支援式典開催！



市長に集めた募金を手渡す

2 月 27 日（水）に市立 26 中学校生徒会交流会の代表メンバー 10 人が市役所を訪れ、東日本大震災の被災地を支援するために募金活動で集めた 58 万 4000 円を野田市長に手渡しました。生徒会交流会の代表者から「今後も被災地の復興支援を通してつながりを大切に、私たちができることを考えながら行動していきたい」と決意を述べました。



市長と一緒に記念撮影

自分でできた！！



学校教育推進室では、東大阪市療育センターと協力をして下記の事業を行っています。

巡回相談は、発達障害の診断のある子どもを対象に行っています。

今年度はフォローアップとして20校園21名、平成24年度新規実施希望校の22校園29名に実施しました。巡回相談では、子どもの強みを活かしながら子ども自身が「自分でできた！」という実感が持てる指導方法や教材の活用方法を児童指導員（発達障がい支援センターPAL）の先生からアドバイスをいただき、先生方や保護者と一緒に考えています。

右の写真は支援学級で個別の課題を行っているところです。最初はそれぞれのケースに課題名を書いた紙を置いていたのですが、「裏に『終わります』と書き、裏返すようにすれば、より『終わった』という実感が持てるのでは？」とアドバイスをいただきました。また通常学級でも、支援の必要な子どもだけでなく学級の子どもたち皆が過ごしやすい教室環境づくりや指示の出し方等について助言をいただき、ともに考えるよい機会となりました。



巡回指導は、主に肢体不自由のある子どもを対象に行っています。

今年度は34校園63名を対象に行いました。理学療法士、作業療法士の方と訪問する中で、個々の状況に応じた支援内容について、ともに考え、助言を行ってきました。助言に加え、各校園の先生方が身近なものを駆使して、鉛筆・スプーン等を持つ補助具、書面台、椅子の手すり、移動可能な椅子、なわとび、簡易トイレ等を作成することで、子どもたちが自分の力でできることが少しずつ増えています。ひじの位置、手首の返し、机椅子の高さなどの微調整、またほんの少し道具を工夫することで、子どもたちの「できる」が増えていくことを実感できました。

今後も子どもたちの障害の状況・ニーズに応じた支援を充実させるため、これらの事業を有効にご活用ください。



来年度も、子どもの特性に合わせた支援内容をともに考えていきましょう！！

おはようございます！

こころを育むあいさつ運動に取り組んでいます

東大阪市立孔舎衛中学校では、例年、夏休み以降にクラブを引退した3年生から「声かけ隊」を募り、10月から翌年3月の卒業直前まで、あいさつ運動をしています。生徒たちは「声かけ隊」のフォルダーを首から下げ、毎日、すれちがう地域の方々や小学生、幼稚園児に、あいさつしながら登下校しています。時には、小学校の校門前に立ってあいさつ運動を行ったり、小学校の児童集会にも参加したりしています。また、11月17日の土曜参観日には、あいさつ運動をしながら、「こころの再生」府民運動のPRグッズである「自転車前かごカバー」を保護者の方に配布する取り組みを行いました。



こうしたあいさつ運動をはじめとする様々な活動を通して、「思いやり」や「ルールやマナーを守るこころ」を育てています。

孔舎衛中学校はその活動が評価され、平成24年度「こころの再生」府民運動@スクール事業において表彰されることが決定しました。表彰式は3月26日(火)に開催されます。

大阪府・大阪府教育委員会の「こころの再生」府民運動のホームページでも活動が紹介されています。



<http://kokoro-saisei.jp/campaign/backnumber.php>